

炭竈ふく代 議員

公明党

働く世代の女性支援のための がん検診推進事業について

問

厚生労働省は、子宮頸がんと乳がんの検診を無料で受けられる無料クーポン券を受け取ったものの、受診しないまま有効期限が切れた女性が4人のうち3人に上ることから、こうした女性を対象にクーポン券を再発行することを決めた。

市も21年から25年までの5年間に子宮頸がんの場合は、20歳から40歳までの5歳刻みの年齢、乳がんの場合は、40歳から60歳までの5歳刻みの年齢を年度で迎える女性に対し、がん検診の無料クーポン券の配付を行った。

(1) この5年間実施した無

料クーポン券の配付と検診状況について尋ねる。

(2) 本市において、クーポン券の再発行、またコール・リコールの体制整備など、26年度におけるがん検診に対し、どのように取り組むのか。

(3) がん検診基本法に基づく基本計画では、28年度までに受診率を50%に向上させることを目標に掲げている。28年度までに目標である受診率50%を達成できる見込みがあるのか。

一人でも多くの方に受診していただくように努めていく

答 民生部長

(1) 子宮頸がんについては、21年度から24年度の4年間の合計で4千417人の受診対象者にクーポン券を配付し、うち受診者が947人、未受診者が残りの3千470人となり、受診率は21.4%となる。25年度は、26年の1月末で受診対象者が1千390人で、うち受診者が153人、未受診者の方が1千237人で、この1月末で受診率は11%となる。

次に、乳がん検診については、21年度から24年度の4年間の合計で4千317人の受診対象者にクーポン券を配付し、うち受診者が1千108人、未受診者の方が残りの3千209人となり、受診率は25.7%となる。

25年度は、26年の1月末で受診対象者は1千441人で、うち受診者が187人、未受診者が1千254人で、1月末の受診率は13%となる。

(2) 26年度の取り組みにつ

いては、国の方針に従い、21年度から25年度までの5年間で一度も受診してみえない方と、この25年度中に、子宮頸がん検診は20歳になった方、乳がん検診は40歳になった方を対象にクーポン券を再発行し、また未受診者の方への個別勧奨と再勧奨、いわゆるコール・リコールを計画していく。

(3) 26年度では、子宮頸がんの検診を25%、乳がん検診の受診率を30%という目標を設定している。国の示している受診率の50%というのは非常に高い数値ではあるが、受診勧奨の対象者への受診案内や、未受診者に対して、はがきなどで個別勧奨や再勧奨を実施するとともに、広報やホームページも活用し、一人でも多くの方への受診に努める。

健康マイレージの積極的な導入を

問

健康診断の受診やスポーツ活動への参加などでポイントをとめると特典を利用

することができ健康マイレージの取り組みが注目をされている。本市における健康マイレージの導入について、今後の取り組み、考えを尋ねる。

愛知県実施の健康マイレージ事業に積極的に参加していく

答 民生部長

愛知県では、26年度から市町村との協働事業として、健康づくりにつながる取り組みを実践することにより、健康マイレージポイントを獲得でき、一定以上のマイレージの獲得者には県内の協力店でさまざまな特典が受けられる優待カードを交付する、あいち健康マイレージ事業の実施を目指す。

本市も、県実施のあいち健康マイレージ事業に積極的に参加をして、市民一人一人が健康寿命を伸ばし、生涯にわたって健康で安心して暮らせるよう、生涯を通じて健康づくりに取り組む動機づけ支援をしていく。